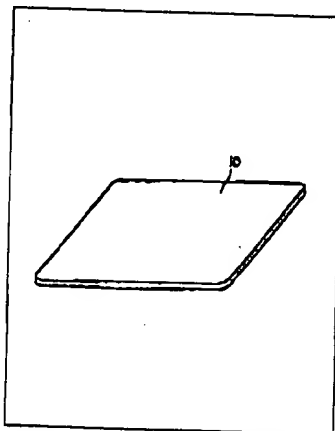


WPI

- TI - Carpet for container e.g. cup, bottle used for storing cooling beverage e.g. beer - has body, made of unwoven cloth which consists of high-absorption fibre, that is laid at bottom of beverage container
- AB - J10085114 The carpet has a body (10) which is laid under a beverage container (14). The carpet body is made of unwoven cloth which consists of high-absorption fibre. A net (12), made of non-absorbent material, is provided on the upper surface of the carpet body.
- ADVANTAGE - Reduced thickness. Absorbs and disperses moisture which fell from container on carpet body, thus reducing moisture on contact part of carpet body against container. Does not stick when container is lifted. Comes to provide three-dimensional decoration by forming uneven pattern on carpet surface.
- (Dwg.2/6)
- PN - JP10085114 A 19980407 DW199824 A47G23/032 004pp
- FR - JP19960246323 19960918
- PA - (TOMO-N) TOMOMITSU SHOJI KK
- DC - P27
- IC - A47G23/032
- AN - 1998-264975 [24]

PAJ

- TI - COASTER FOR VESSEL FOR COLD BEVERAGE
- AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a coaster from being stuck to a vessel and lifted at the time of lifting the vessel by constituting the material of a coaster placed under a vessel of a cold beverage of a highly absorbing fiber.
- SOLUTION: The main body 10 of the coaster is provided with a shape and a thickness of the same degree as those of a general coaster but its material is constituted of the highly absorbing fiber. As the highly water absorbing fiber, a fabricated sodium polyacrylate being highly water absorbing polymer, e.g. or a fiber obtained by combining a fiber such as polyester, acrylic, pulp to it is used. As the coaster main body 10 consists of the highly absorbing fiber, the highly absorbing fiber absorbs a large amount of dew stuck to the vessel and uniformly distributed the dew in the whole of the highly absorbing fiber, moisture at a place in contact with the vessel is reduced to eliminate the bad condition of lifting the coaster with the vessel at the time of lifting the vessel. In addition, as the fiber absorbs a large amount of moisture, the coaster absorbing the dew is free from a sticky feeling and does not give an unpleasant feeling.
- PN - JP10085114 A 19980407
- PD - 1998-04-07
- ABD - 19980731
- ABV - 199809
- AP - JP19960246323 19960918
- PA - YUUKOU SHOJI KK
- IN - KONDO SHICHIRO
- I - A47G23/032



<First Page Image>

(18) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-85114

(43) 公開日 平成10年(1998) 4月7日

(51) Int.Cl.⁵

A 4 7 G 23/032

識別記号

F I

A 4 7 G 23/032

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-246323

(22) 出願日 平成8年(1996) 9月18日

(71) 出願人 391045370

友光商事株式会社

大阪府東大阪市南上小阪10番36号

(72) 発明者 近藤 七郎

千葉県柏市伊勢原1-7-1

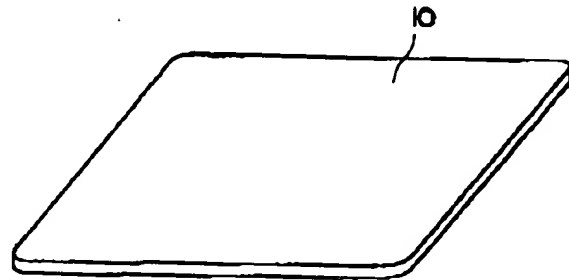
(74) 代理人 弁理士 八幡 敬市

(54) 【発明の名称】 冷却飲料用容器の敷物

(57) 【要約】

【課題】 容器を持ち上げる際に容器に付着して持ち上がることのない冷却飲料用容器の敷物を提供することを目的とする。

【解決手段】 敷物の本体10の素材を高吸水性繊維で構成する。その高吸水繊維に容器から落下する露を吸水分散させ、容器との接触箇所に水分を少なくさせる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 冷却飲料用容器の下に敷く敷物であって、その本体の素材を高吸水性繊維で構成したことを特徴とする冷却飲料用容器の敷物。

【請求項2】 本体の上面に水非透性の素材から成るネットを取り付けたことを特徴とする請求項1記載の冷却飲料用容器の敷物。

【請求項3】 本体の上面に本体側への一方向の水透過性部材を取り付けたことを特徴とする請求項1記載の冷却飲料用容器の敷物。

【請求項4】 本体の底面に水を透過させない素材から成る底部材を取り付けたことを特徴とする請求項1乃至3記載の冷却飲料用容器の敷物。

【請求項5】 前記本体の素材を不織布とし、その本体の上面に凹凸模様を形成したことを特徴とする請求項1記載の冷却飲料用容器の敷物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ビールや冷茶等の冷却した飲料を入れた容器の下に敷く敷物に関する。

【0002】

【従来の技術】例えばビールや冷茶等の冷えた飲料を入れたコップやビン等の容器では、外気との温度差によってその外壁に露が付着する。コップやビン等の容器に付いた露はその表面を落下してテーブル等を濡らすので、冷えた飲料を入れたコップやビンの下には一般にはコースターを敷き、そのコースターで露を受けてテーブル等を露で濡らさないようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来から、コースターの素材には木やコルクや金属や繊維や紙等が主に使用されている。木やコルクや金属から成るコースターでは、コップやビールビン等の容器を持ち上げる際に、露によってコースターが容器に一時的に接着し、容器にコースターが容器と共に持ち上がることが往々にしてある。その場合には、持ち上がったコースターが容器から離れてテーブルの上に落下して、大きな音がしたり、コースターがテーブルの上を転がったり、コースターに溜った露が服にかかったりするという不具合があった。また、通常の繊維や紙から成るコースターでは、繊維全体に露が染みてベチャベチャに見えたり、紙がプヨプヨに膨張したりして、見た目の感じが良くないという不具合があった。

【0004】容器がビールビンの場合には、図6に示すように、容器の底部から高さの何分の一かを覆う「はかま」と呼ばれるコップ状で木製の収容部材30が、平らなコースターに代えて使用されることがある。しかし、この収容部材30を使用した場合でも、ビールビン32を持ち上げる際に露によって収容部材30が持ち上げられ、持ち上がった収容部材30が容器から離れてテー

ブルの上に落下するという不具合がある。

【0005】本発明は、上記の点に鑑みてなされたもので、容器を持ち上げる際に容器に付着して持ち上がることをしない冷却飲料用容器の敷物を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、冷却飲料用容器の下に敷く敷物であって、その本体の素材を高吸水性繊維で構成するようにしたものである。

【0007】

【発明の実施の形態】次に、本発明を図面に基づいて説明する。図1は本発明に係る冷却飲料用容器の敷物の一実施形態を示す斜視図である。本発明に係る敷物の本体10は、例えば従来一般のコースターと同じ程度の形状や厚さとし、素材を高吸水性繊維で構成するようにしたものである。高吸水性繊維とは、例えば、高吸水性ポリマーであるポリアクリル酸ナトリウムを繊維化したものや、それにポリエステルやアクリルやバルブ等の繊維を複合化したものが用いられる。ポリアクリル酸ナトリウムを繊維化したものは、その吸水量は自重の約80倍である。高吸水繊維は、通常の繊維の吸水量より大幅に吸水量が多いものであれば、前記素材に限るものではない。

【0008】本発明では、敷物の本体10を高吸水性繊維で構成することによって、容器に付いた露をその高吸水性繊維が大量に吸収し、かつその露を高吸水性繊維全体に均一に分散するので、容器と接触する箇所の水分が少なくなり、容器を持ち上げても敷物が容器と共に持ち上がるという従来の不具合を無くすることができる。また、高吸水性繊維が水分を大量に吸収するので、露を吸収した敷物はべたつき感がなく、不快感を与えない。また、本発明に係る敷物は水分を大量に吸収するので、従来一般のコースターの厚みより薄くすることができる。例えば、本体10の厚みが1mm以下であっても十分に露を吸収でき、容器を持ち上げた際にその容器に伴って敷物が持ち上がることはない。

【0009】次に、本発明に係る容器用敷物の他の実施形態を図2に基づいて説明する。敷物の本体10の上面には、ナイロン等の素材から成る水非吸収性のネット12を取り付ける。この水非吸収性のネット12を本体10の上面に取り付けることによって、容器14から落下する露はネット12を経由して敷物の本体10に吸収される。このように、容器14とネット12との接触箇所には水分が溜らないので、容器を持ち上げた際にその容器に伴って敷物が持ち上がることはない。

【0010】次に、本発明に係る容器用敷物の更に他の実施形態を図3に基づいて説明する。図3に示すように、敷物の本体10の上面には、水分を一方の方向から他方の方向へのみ通過させる一方向への水透過性部材1

6を取り付ける。この一方向への水透過性部材16は、容器14側から敷物の本体10に向けての水を通過させるが、敷物の本体10から容器14に向かう方向へは水を通過させないものとする。このように、一方向への水透過性部材16によって、容器14から本体10へ向かう方向のみに水分を通過させるので、容器14と本体10との接触箇所には水分が溜らなくなり、容器を持ち上げた際にその容器に伴って敷物が持ち上がることはない。

【0011】更に、本発明に係る敷物のその他の実施形態を図4に基づいて説明する。敷物において、本体10の一方の面（底面となる箇所）に、水を通過させない水非透過部材18を備える。これによって、本体10に大量の水を吸収したとしても、水非透過部材18がテーブルと本体10とを分断しているため、テーブルに水が付着することはない。また、この水非透過部材18を、図3に示したような本体10の表面に一方向への水透過性部材16を備えたものにも適用することができる。

【0012】更に、本発明に係る敷物の更に他の実施形態を図5に示す。敷物において、本体20の素材を不織布とする。不織布は高吸水性繊維の一種であり、十分な厚みを持たせることができ、しかも厚みに変化を持たせることができる。本体20を充分な厚みのある不織布から構成することができるので、本体20の表面に凹凸による立体模様を形成することができる。即ち、敷物に立体装飾による美的付加価値を与えることができる。この不織布から成る敷物においても、容器に付いた露を充分吸収することができる。この敷物においても、表面に水非吸収性のネット12や一方向への水透過性部材16を備えたり、底面に水非透過性部材18を備えるようにしても良い。ることができる。

【0013】図6に示すように、ビールビン32を収容するコップ状の木製の収容部材30を使用する場合には、その収容部材30の内部の底に図1乃至図5に示した敷物を入れる。これによって、ビールビン32の露を高吸水性繊維から成る本体10、20が吸収し、ビールビン32を持ち上げる際に、敷物や収容部材30が持ち

上がることを無くすることができる。

【0014】

【発明の効果】このように、本発明に係る冷却飲料用容器の敷物によれば、素材を高吸水性繊維で構成したので、容器に付いた露をその高吸水性繊維が吸収し、容器と接触する箇所の水分が少なくなり、容器を持ち上げても敷物が容器と共に持ち上がることを無くすることができる。また、素材を高吸水性繊維で構成したので、従来のものより厚みを薄くすることができる。更に、本体の上面に、水非吸収性のネットや、容器側から本体側へのみ水を通過させる一方向の水透過性部材を取り付けるようにすれば、容器を持ち上げた際に敷物が容器と共に持ち上がることをより一層防止することができる。その上、敷物の素材を不織布とすることで、その上面に凹凸模様を形成することができ、立体装飾による付加価値を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る冷却飲料用容器の敷物の一実施形態を示す斜視図である。

【図2】本発明に係る冷却飲料用容器の敷物の他の実施形態を示す部分断面図である。

【図3】本発明に係る冷却飲料用容器の敷物の他の実施形態を示す部分断面図である。

【図4】本発明に係る冷却飲料用容器の敷物の他の実施形態を示す部分断面図である。

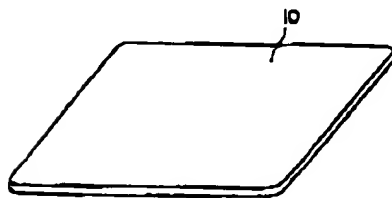
【図5】本発明に係る冷却飲料用容器の敷物のその他の実施形態を示す側面図である。

【図6】ビールびんを収容した状態の収容部材を示す断面図である。

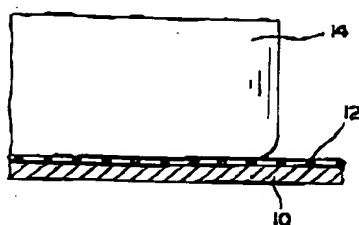
【符号の説明】

- 10 本体
- 12 水非吸収性のネット
- 14 容器
- 16 一方向への水透過性部材
- 18 水非透過部材
- 20 本体

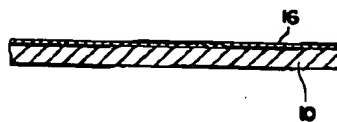
【図1】



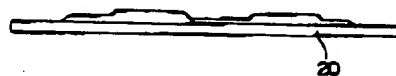
【図2】



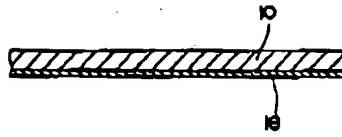
【図3】



【図5】



【図4】



【図6】

